

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,993	1.7	80	—	△23	—	△63	—
28年3月期第2四半期	11,795	12.1	△126	—	73	—	△17	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,338百万円( —%) 28年3月期第2四半期 △474百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△8.89	—
28年3月期第2四半期	△2.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,075	10,180	43.3
28年3月期	22,105	11,540	48.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 9,561百万円 28年3月期 10,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	0.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△2.1	150	—	100	—	80	—	11.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	7,739,548株	28年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	552,649株	28年3月期	552,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	7,186,899株	28年3月期2Q	7,186,964株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、熊本地震や英国のEU離脱問題などを背景に、円高・株安傾向にあります。また、大企業を中心に雇用状況は改善を続けているものの、外国人観光客による購入額減少に加え悪天候・台風の影響により、個人消費は低迷しております。

世界経済は、景気減速が続く中国をはじめとする新興国を中心に、先行き不透明な状態が続いております。英国の動向や世界各地での移民問題・テロ事件、原油価格の動向、米国大統領選など、各国の政治・経済情勢が影響しております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、熊本地震に伴い停止していたデジタルカメラ等の生産が再開しましたが、外国人観光客向けの家電販売は減少傾向にあります。また、国内ではスマートフォンの新機種販売が好調でしたが、世界的には販売不振が続いております。自動車関連においては、熊本地震や燃費データ不正問題による国内販売への悪影響が落ち着きつつあるものの、好調だった輸出は伸び悩みを見せております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、当第2四半期連結会計期間においてスマートフォン向け電子ペンの量産により売上が大幅に増加いたしました。ムトー(タイランド)CO.,LTD.の立上げ・生産遅れによる経費の増加に加えて、熊本地震による減産や円高基調の継続が減収要因となり、その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は119億9千3百万円と前年同四半期と比べ1億9千8百万円(1.7%)の増収、営業利益は8千万円(前年同四半期は営業損失1億2千6百万円)、経常損失は2千3百万円(前年同四半期は経常利益7千3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は6千3百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1千7百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、当第2四半期連結会計期間においてスマートフォン向け電子ペンの量産により売上が大幅に増加いたしました。また、金型の販売強化により自動車向け外装部品をはじめ、血圧計などの健康機器においても順調に金型製作・試作の受注を確保しております。一方で、中国においてはカメラ部品の生産が減少傾向にあり、4月に発生した熊本地震の影響により国内におけるカメラ部品が減産となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて108億3千9百万円と前年同四半期と比べ4億1千4百万円(4.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は9千3百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)1億6千5百万円)となりました。

#### ② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、積極的に新規市場開拓を推進し、健康医療機器やICレコーダーなどの新たな分野にて受注しております。また、アジア圏を中心に、カーオーディオなどの自動車関連部品やノートパソコン関連部品の受注・生産も増加しており、海外生産拠点において大型プレス機などの設備投資により生産能力を拡充・増強しております。一方で、国内においてはプレス関連の生産・検収遅れにより経費、運送費が増加いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて10億8千万円と前年同四半期と比べ2億3千5百万円(17.9%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は1千8百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)3千5百万円)となりました。

#### ③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門は、高密度の電子機器に使用されるICとプリント配線板を接続するために使用されるパッケージ基板の設計と産業用機械や複写機などの設計業務が売上を伸ばしております。一方、検査部門においては、パッケージ基板やフレキシ基板、セラミック基板など特殊な検査業務は増加しましたが、電波時計や遊技機器に使用される基板の受注が大きく減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億3千7百万円と前年同四半期と比べ3百万円(2.7%)の減収となりましたが、継続的な固定費削減の効果によりセグメント利益(営業利益)は5百万円と前年同四半期と比べ2百万円(55.2%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億8千5百万円増加し、143億7千1百万円となりました。受取手形及び売掛金が12億9千2百万円、商品及び製品が3億8千7百万円、原材料及び貯蔵品が1億7千3百万円それぞれ増加し、現金及び預金が10億3千4百万円、仕掛品が4億円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億1千5百万円減少し、77億4百万円となりました。有形固定資産が4億1千3百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3千万円減少し、220億7千5百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ15億5千4百万円増加し、98億5千7百万円となりました。支払手形及び買掛金が6億3千4百万円、短期借入金が12億1千6百万円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金が9千1百万円減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億2千5百万円減少し、20億3千7百万円となりました。長期借入金が2億1千3百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ13億2千9百万円増加し、118億9千4百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13億5千9百万円減少し、101億8千万円となりました。為替換算調整勘定が11億8千1百万円減少したことなどが主な要因です。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、36億4百万円となり、前年同四半期と比べ6億7千7百万円(15.8%)減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失2千2百万円、売上債権の増加額17億8千5百万円、たな卸資産の増加額4億2千万円及び非資金費用である減価償却費6億4千4百万円、仕入債務の増加額8億8千4百万円、未払消費税等の増加額9千8百万円などにより、営業活動全体として5億8千5百万円の支出(前年同四半期は3億7千7百万円の収入)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出9億9千万円などにより、投資活動全体として10億5千4百万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が4億5千6百万円(76.4%)の増加となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純増額13億8千4百万円、長期借入れによる収入3億円及び長期借入金の返済による支出6億5百万円などにより、財務活動全体として10億6千8百万円の収入となり、前年同四半期と比べ収入が8億5千6百万円(404.2%)の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(平成28年11月11日)公表の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績の差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,959,307	3,924,508
受取手形及び売掛金	4,106,547	5,399,054
電子記録債権	516,300	536,780
商品及び製品	704,652	1,091,702
仕掛品	1,148,657	748,085
原材料及び貯蔵品	1,683,045	1,856,931
未収入金	312,600	379,595
繰延税金資産	2,781	2,710
その他	553,217	433,132
貸倒引当金	△1,267	△1,185
流動資産合計	13,985,840	14,371,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,099,199	1,850,234
機械装置及び運搬具(純額)	3,419,725	3,304,117
土地	1,072,592	1,052,276
建設仮勘定	247,279	72,829
その他(純額)	526,095	671,780
有形固定資産合計	7,364,892	6,951,238
無形固定資産	266,362	239,226
投資その他の資産		
投資有価証券	243,797	260,282
退職給付に係る資産	94,389	85,458
その他	153,503	170,974
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	488,804	513,831
固定資産合計	8,120,060	7,704,296
資産合計	22,105,900	22,075,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,837,204	3,472,090
短期借入金	3,034,154	4,250,946
1年内返済予定の長期借入金	1,145,168	1,053,403
未払法人税等	46,292	66,286
賞与引当金	164,551	168,609
繰延税金負債	391	333
その他	1,074,821	845,523
流動負債合計	8,302,583	9,857,194
固定負債		
長期借入金	1,904,249	1,690,862
繰延税金負債	23,383	22,927
役員退職慰労引当金	127,138	121,546
退職給付に係る負債	203,449	198,537
その他	4,565	3,557
固定負債合計	2,262,785	2,037,430
負債合計	10,565,369	11,894,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,096
利益剰余金	6,898,851	6,834,944
自己株式	△397,733	△397,733
株主資本合計	10,936,173	10,872,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,119	37,634
為替換算調整勘定	△166,753	△1,347,935
その他の包括利益累計額合計	△118,634	△1,310,301
非支配株主持分	722,991	619,021
純資産合計	11,540,531	10,180,986
負債純資産合計	22,105,900	22,075,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,795,302	11,993,385
売上原価	10,264,326	10,447,630
売上総利益	1,530,975	1,545,754
販売費及び一般管理費	1,657,083	1,465,485
営業利益又は営業損失(△)	△126,107	80,268
営業外収益		
受取利息	27,148	11,749
受取配当金	2,668	2,967
為替差益	171,890	—
その他	19,292	12,203
営業外収益合計	220,999	26,921
営業外費用		
支払利息	21,080	31,764
為替差損	—	97,880
その他	12	836
営業外費用合計	21,093	130,481
経常利益又は経常損失(△)	73,798	△23,291
特別利益		
固定資産売却益	5,260	2,531
特別利益合計	5,260	2,531
特別損失		
固定資産除却損	4,116	1,717
特別損失合計	4,116	1,717
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	74,942	△22,477
法人税等	55,040	52,240
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,902	△74,717
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	36,904	△10,810
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,002	△63,906

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,902	△74,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,558	△10,484
為替換算調整勘定	△540,469	△1,253,189
その他の包括利益合計	△493,910	△1,263,674
四半期包括利益	△474,008	△1,338,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△490,042	△1,255,574
非支配株主に係る四半期包括利益	16,034	△82,817

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74,942	△22,477
減価償却費	797,779	644,333
有形固定資産除却損	4,116	1,717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△123	△82
賞与引当金の増減額(△は減少)	32,774	14,112
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△76,997	△5,592
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,278	8,122
受取利息及び受取配当金	△29,816	△14,717
支払利息	21,080	31,764
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,260	△2,531
売上債権の増減額(△は増加)	△856,791	△1,785,550
たな卸資産の増減額(△は増加)	156,451	△420,167
仕入債務の増減額(△は減少)	149,587	884,266
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,523	98,277
その他	182,880	66,054
小計	428,378	△502,469
利息及び配当金の受取額	29,830	14,729
利息の支払額	△20,541	△31,348
法人税等の支払額	△63,113	△68,469
法人税等の還付額	2,557	2,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,111	△585,359
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△691,916	△282,563
定期預金の払戻による収入	730,515	261,577
有価証券の純増減額(△は増加)	93,928	△33,200
有形固定資産の取得による支出	△728,075	△990,002
有形固定資産の売却による収入	21,125	2,477
無形固定資産の取得による支出	△21,632	△19,001
投資有価証券の取得による支出	△636	△27,582
投資有価証券の償還による収入	—	40,000
その他	△778	△5,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597,469	△1,054,211
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	193,973	1,384,525
長期借入れによる収入	600,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△519,220	△605,152
自己株式の取得による支出	△45	—
配当金の支払額	△57,426	△206
非支配株主への配当金の支払額	△1,668	△6,872
その他	△3,766	△4,242
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,846	1,068,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△213,844	△462,967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△222,356	△1,034,488
現金及び現金同等物の期首残高	4,503,763	4,638,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,281,407	3,604,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,411,637	1,248,248	135,415	11,795,302	—	11,795,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,433	67,778	6,338	87,550	△87,550	—
計	10,425,071	1,316,027	141,754	11,882,853	△87,550	11,795,302
セグメント利益又は損失(△)	△165,063	35,221	3,734	△126,107	—	△126,107

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,827,545	1,032,752	133,087	11,993,385	—	11,993,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,901	47,799	4,786	64,486	△64,486	—
計	10,839,446	1,080,551	137,873	12,057,871	△64,486	11,993,385
セグメント利益又は損失(△)	93,435	△18,963	5,797	80,268	—	80,268

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。